

山形県と丸勘山形青果市場

# 災害時の支援で協定

## 青果物供給や物資輸送

山形県では、丸勘山形青果市場（井上周士社長、民営）と「災害発生時の支援活動に必要な応急生活物資の供給及び支援助物資の輸送等に関する協定」を締結した。

内容は、災害発生時には同社が避難所等への応急生活物資（青果物等）

の供給を行い、また広域物資輸送拠点として市場施設を無償提供し、支援助物資の集積・保管及び緊急輸送なども行うもの。民営ではあるものの、県内最大手の卸売市場機能を災害時に活かそうという狙いがある。

今月14日、県庁で締結

式が行われた。吉村美栄子知事は「これまで災害時の応急支援助物資には野菜など生鮮食品が少なく、栄養バランスが崩れる恐れがあったが、今回の提携で避難生活の支えになる」とし、また井上社長は「東日本大震災で自分たちの仕事は人の命をつなぐ仕事だと再認識した。市場機能をフル活用して役立ちたい」としている。